



日本语  
——精彩——  
篇章读解

【赵玉柱◎编著】

外语教学与研究出版社

日本語  
——精彩——  
篇章读解

〔第二版〕

H369.4

104

2006

# 日本語 ——精彩—— 篇章读解

【赵玉柱◎编著】

外语教学与研究出版社

北京

## 图书在版编目(CIP)数据

日语精彩篇章读解 / 赵玉柱编著. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2006.10

ISBN 7-5600-6092-7

I. 日… II. 赵… III. 日语—语言读物 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2006) 第 114520 号

出 版 人: 李朋义

责任编辑: 杜红坡

装帧设计: 刘 蕊

出版发行: 外语教学与研究出版社

社 址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址: <http://www.fltrp.com>

印 刷: 北京京科印刷有限公司

开 本: 850×1168 1/32

印 张: 12.375

版 次: 2006 年 11 月第 1 版 2006 年 11 月第 1 次印刷

书 号: ISBN 7-5600-6092-7

定 价: 19.90 元

\* \* \*

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)88817519

# 前言

听说读写译这五项技能是衡量一个人日语水平高低的标准,缺少哪一项都会给您今后的工作或生活带来损失和不便。那么怎样才能从根本上全面地提高日语水平呢?具体的方法是很多的,但我想加强阅读训练是不可缺少的方法之一,因为这是一个基础。

不具有在日本生活的这种语言环境,如果阅读能力又不高,其他几项技能的发展恐怕也难以有出色的表现。相反,您的阅读能力很强,再通过某些相应的积极训练,其他几项技能就会进步很快,甚至会出现很大的飞跃。因为阅读可以扩充您的词汇量,可以巩固、加深和增加您对日语语言各方面知识的理解,可以使您学会更地道的日本式的语言表达方式,从而提高您的口译和笔译的翻译质量。

基于以上的认识,本人编辑了这本《日语精彩篇章读解》,供大家选读。此书共有读解文章82篇,是从大量的材料中经过精挑细选汇集而成的。其中很多都是出自名家之手。它包括小说、散文、议论文、记述文等体裁,内容涉及日本的社会、文化、风俗、语言等方方面面。在选材中既注意到了语言的生动活泼,也顾及到了故事情节的趣味性和可读性。为了方便您的阅读,每篇文章后都加上了关键的词汇、语法、句型的注释及问题答案。本书集阅读、欣赏、

读解于一体,内容的丰富多彩一定会引起您的兴趣。在此书的编辑过程中,得到了现在北京师范大学文学院攻读博士学位的日本留学生大塚美由纪的热情帮助,在此特表感谢。

本书可作为大专院校日语专业学生的阅读教材,也可以作为日语水平等级考试的读解模拟练习使用,也可以成为广大日语学习者提高日语水平的一本好的读物。

编 者

2006年6月

# 目次

|       |    |
|-------|----|
| 文章 1  | 1  |
| 文章 2  | 5  |
| 文章 3  | 9  |
| 文章 4  | 12 |
| 文章 5  | 16 |
| 文章 6  | 21 |
| 文章 7  | 25 |
| 文章 8  | 29 |
| 文章 9  | 33 |
| 文章 10 | 37 |
| 文章 11 | 42 |
| 文章 12 | 46 |
| 文章 13 | 51 |
| 文章 14 | 54 |
| 文章 15 | 58 |
| 文章 16 | 62 |
| 文章 17 | 66 |

|       |     |
|-------|-----|
| 文章 18 | 69  |
| 文章 19 | 73  |
| 文章 20 | 78  |
| 文章 21 | 81  |
| 文章 22 | 85  |
| 文章 23 | 90  |
| 文章 24 | 94  |
| 文章 25 | 97  |
| 文章 26 | 101 |
| 文章 27 | 107 |
| 文章 28 | 113 |
| 文章 29 | 119 |
| 文章 30 | 123 |
| 文章 31 | 125 |
| 文章 32 | 130 |
| 文章 33 | 136 |
| 文章 34 | 141 |
| 文章 35 | 145 |
| 文章 36 | 151 |

|       |     |
|-------|-----|
| 文章 37 | 156 |
| 文章 38 | 159 |
| 文章 39 | 162 |
| 文章 40 | 165 |
| 文章 41 | 169 |
| 文章 42 | 173 |
| 文章 43 | 176 |
| 文章 44 | 183 |
| 文章 45 | 188 |
| 文章 46 | 195 |
| 文章 47 | 199 |
| 文章 48 | 203 |
| 文章 49 | 207 |
| 文章 50 | 210 |
| 文章 51 | 215 |
| 文章 52 | 220 |
| 文章 53 | 226 |
| 文章 54 | 231 |
| 文章 55 | 235 |

|       |     |
|-------|-----|
| 文章 56 | 240 |
| 文章 57 | 245 |
| 文章 58 | 248 |
| 文章 59 | 253 |
| 文章 60 | 258 |
| 文章 61 | 265 |
| 文章 62 | 269 |
| 文章 63 | 275 |
| 文章 64 | 279 |
| 文章 65 | 285 |
| 文章 66 | 290 |
| 文章 67 | 294 |
| 文章 68 | 299 |
| 文章 69 | 303 |
| 文章 70 | 307 |
| 文章 71 | 314 |
| 文章 72 | 318 |
| 文章 73 | 321 |
| 文章 74 | 324 |

|       |     |
|-------|-----|
| 文章 75 | 328 |
| 文章 76 | 332 |
| 文章 77 | 337 |
| 文章 78 | 342 |
| 文章 79 | 347 |
| 文章 80 | 353 |
| 文章 81 | 359 |
| 文章 82 | 365 |
| 答案    | 370 |

# 文章 1

**追** 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

① 先日、ある会社で用事があって出かけ、応接間で待っていると、娘さんがお茶を入れてきてくださいました。

「どうぞ。」とお茶をわたしの前に置いたときに、娘さんはちょっと首をかしげるようにして、

「少し熱いのですが。」

と言いました。

② わたしはその言葉をとても美しく聞いて、お茶をおいしくいただいたわけですが、この言葉は、その人のやさしさ、敬語というような決められた言葉の美しさではない心の美しさ、わたしがやけどをしないように気づかう心の言葉ということになるでしょう。

③ 言葉には、意思を伝えたり用事を果たしたりして実用的に使われる場合と、心を伝える言葉として使われる場合と、大きく分けてこの二つの使い方があるといえるでしょう。

④ 例えばたばこを買うとき、その用事を果たすための言葉は、「ハイライトを一つ。」とえばよいわけです。駅のホームなどでは、みんなこうした買い方をして、お金をわたしています。

⑤ 駅の売店に勤めている A 子さんが、こんなことを言いまし



た。「わたし、この仕事につくとき、お客様には、できるだけ親切にしてあげようと決めたのですよ。でも、いざ店に立ってみると、『ありがとうございます。』なんて言葉を言うよりは、『はい。』と言って次々に早く品物をわたし、おつりを出してあげるのが、いちばんの親切だということがわかりました。だって、みんな大急ぎで電車で飛び乗っていくのですもの。」

⑥ A子さんの言うとおり、駅の買い物はみんな大急ぎ、それで言葉も実用だけで簡潔にすまることが、使い方としてふさわしいのです。でも、ふだんいつも、こうした実用だけの言葉ですますとしたら、さびしい思いになることでしょう。

(高田敏子『心を伝える』から)

(1) この文章には六つの形式段落がありますが、内容的に四つのまとまりにまとめられます。次の中から最もよいものを選び、その記号を書きなさい。

ア ①——②③——④⑤——⑥

イ ①②——③——④——⑤⑥

ウ ①②——③——④⑤——⑥

エ ①②——③④——⑤——⑥

(2) ——線①は、どうして「わたしはその言葉をとても美しく聞いた」のですか。そのことについて説明している部分を文章中からさがし、二十二字で書きなさい。

(3) 筆者は「言葉には二つの使い方がある」と述べていますが、その二つをそれぞれ十字以内で書きなさい。

(4) ——線②「ハイライトを一つ」という言い方は、文として見

ると省略されている言葉があります。その言葉を補って、完成された文を書きなさい。

(5) ④段落と⑤段落とは、どういう関係にありますか。次の中から最もよいものを選び、その記号を書きなさい。

ア ④を説明するための具体例を⑤で示している。

イ ④と反対の内容を⑤で述べている。

ウ ④と同じ内容のことを⑤でも述べている。

エ ④は⑤を言うための例である。

(6) ⑤段落のA子さんの言った言葉の中にある敬語のうち、謙譲語（一語）を言い切りの形で書きなさい。

(7) 筆者がこの文章で最も言いたいことを、できるだけこの文章中の言葉を使って、五十字以内にまとめて書きなさい。



## 注释

かしげる〔傾げる〕③（他下一）歪，倾斜。△首をかしげる／歪着头；表示怀疑或把握不准的样子。

言いそえる〔言い添える〕④（他下一）补充（说）。

やけど〔火傷〕①（名、自サ）烧（烫）伤。

気づかう〔気遣う〕③（他五）担心，挂虑。

果たす〔はたす〕②（他五）完成，实现。

ハイライト③（名）香烟名

いざ①（感）一旦（用在条件句时，后面多和助词「と」「ば」「たら」等相呼应）。△～別れるとなると、寂しいものだ／一

旦分别的话，是多么寂寞啊！

飛び乗る〔とびのる〕③（自五）（一跃）跳上。

だって①（接）申述理由时使用（后面常和终助词「もの」呼应）。△～いやなもの／可是我不喜欢嘛。△～おなかが痛いんだもの／因为我肚子疼呀。

\*

\*

\*

●～わけだ／（句型）前接活用语连体形，表示一种理所当然的归结，相当于「それはあたりまえだ」，多和表示原因的状语从句相呼应，可译为“当然……”、“自然是……”等，有时可不译。

△中に肉が入っているから、おいしいわけです／里面有肉，当然香了。

△昨日習ったばかりだから、よくできるわけだ／昨天刚学的，当然掌握得不错了。

## 文章 2

**追** 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

きみたちは、もう背の高さで、そろそろ両親に追いついたり、追いこし始めたりするころではないかと思う。力でも、だんだん負けないほど強くなり始めているはずだ。そして、もうぼくは一人前だ、一人前の人間としてあつかってほしいという気持ちが高まってきている。しかし、自分が、まだ両親だとか、先生だとかにたよっているところがあることも知っている。その、自分がだれかにまだたよっているということは、一人前の人間になりたいという気持ちには、しゃくにさわることだ。

そこで、あの小さい子供時代の反抗期のことを思い出してみるのだ。ぼくには、四つのむすめがいる。少し、字を覚えだしたころだ。紙に向かって、いっしょうけんめい字を書こうとしている。ぼくは、それを見ている。まちがった字を書いているのを見ると、そばに行って、そうではない、こうだ、教えてやろうと言いたくなる。ところが、四歳のぼくのむすめは、パパ、向こうに行つて、とぼくを押しつけるのだ。まちがっていてもいいから、自分で、自分独りで、それを書いてみたいのだ。ぼくが、それでも教えてやろうとすると、ぼくを部屋から、力で押し出そうとする。そこで相撲のまねになってしまう。まだ、ぼくは断然強

い。四つの子供に簡単に力で押し出されはしない。A□、相手は全身の力で、真っ赤になって、うんうんと押す。ぼくは負けたふりをして、逃げ出さなければならない。B□むすめは、勝ったぞ、と満足そうな顔をする。

思春期には、それと似たところがないだろうか。ただ、ちがうところは、親のほう<sup>③</sup>が、本当に力で負けてしまうことがあるところだ。そして、負けまいと思ったら、親のほうだって必死になってしまう。四歳の女の子と相撲をとっているときの余裕などは、親にはもうない。子供のほうは、それほどでなくとも、親のほう<sup>④</sup>がメンツもあるものだから必死になってしまう。だから、実際には大変なぶつかり合いになってしまう場合もあるのだ。しかし、そこに、きみは小さい子供のころの反抗のくり返しを見つけることができるだろう。

では、なぜ、思春期にこんなくり返しが必要なのだろうか。しかも、こんな激しい反抗が。それには、ちゃんとした理由がある。この反抗は、人間が自分の親から独立するきっかけとして、どうしても必要なのだ。

(なだ いなだ『独り立ち』から)

- (1) ——線①のような気持ちになる時期のことを何と言いますか。文章中の三字の言葉で答えなさい。
- (2) ——線②のような気持ちになる時期のことを何と言いますか。文章中の十一字の言葉で答えなさい。
- (3) □A・Bにあてはまる言葉を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。